

令和8年度 第1回 北陵地域協働交通検討部会連絡会

次第

日時：令和8年9月17日（木）

午後2時30分～

場所：アステ市民プラザ ルーム1

1. 自己紹介
2. 部会長の選任について
3. 地域の移動課題対策支援事業について
 - (1) 部会の目的
 - (2) 実施計画の作成
4. 北陵地区の地域課題について
 - (1) 地域別カルテの共有（市）
 - (2) 地域課題の共有（地域）
5. 今後のスケジュールについて
 - (1) 学識者による講演会（勉強会）、ワークショップ、アンケート実施
6. その他

【協議】地域内の移動課題と支援地区の決定について(北陵地域)

1. (事務局案) 協議事項

北陵コミュニティ協議会を地域の移動課題対策支援事業の支援地区としたい。
なお、支援地区に決定した場合、地域協働交通検討部会を設置し、課題解決に向け支援することとする。

2. これまでの経緯

- ①令和7年4月16日
コミュニティ連合会において、支援希望地区を募集
- ②令和7年5月23日
北陵コミュニティ協議会から支援希望の申請書(資料3-2参照)受理
- ③令和7年7月29日
交通政策課が北陵コミュニティ協議会と協議(地域内で挙がった課題のヒアリング)
＜主な課題＞
 - ・持続可能な路線バスのありかた(阪急バスのルート・ダイヤ・運賃など)
 - ・交通空白地への対応
 - ・タクシーがつかまらないことへの対策 など

3. 部会員について

地域公共交通会議規則第8条第2項に基づき地域公共交通会議の委員の中から日野会長が以下の委員を部会員に指名予定。

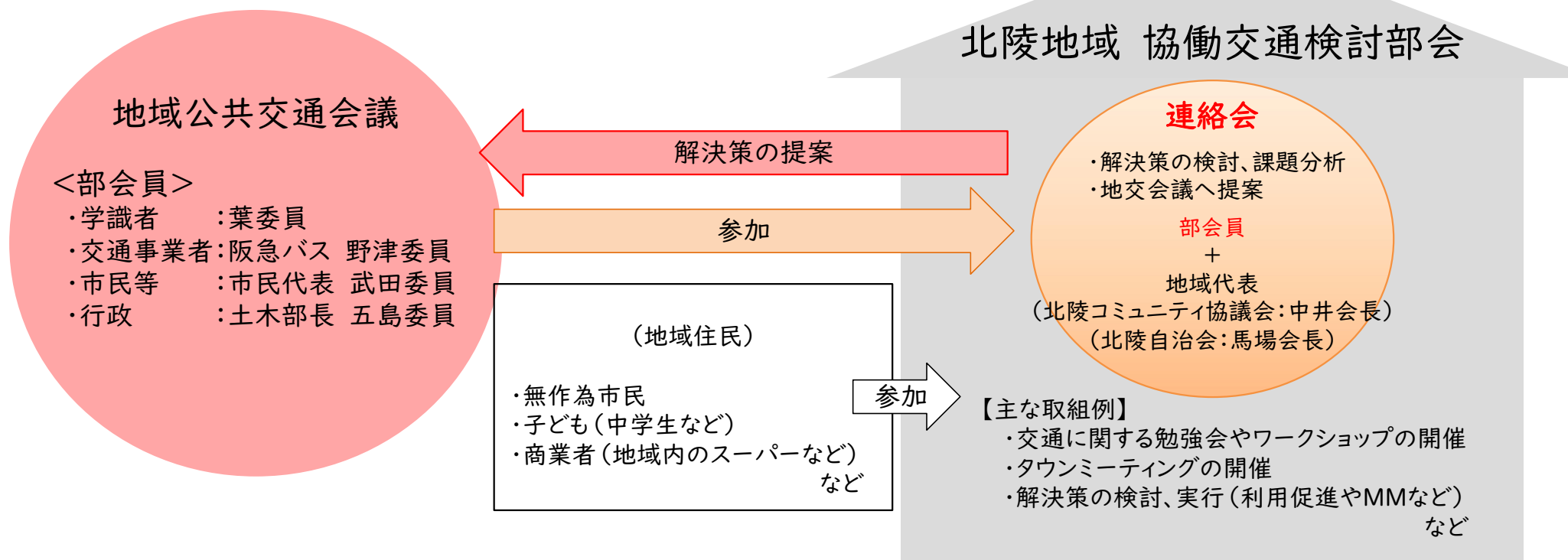
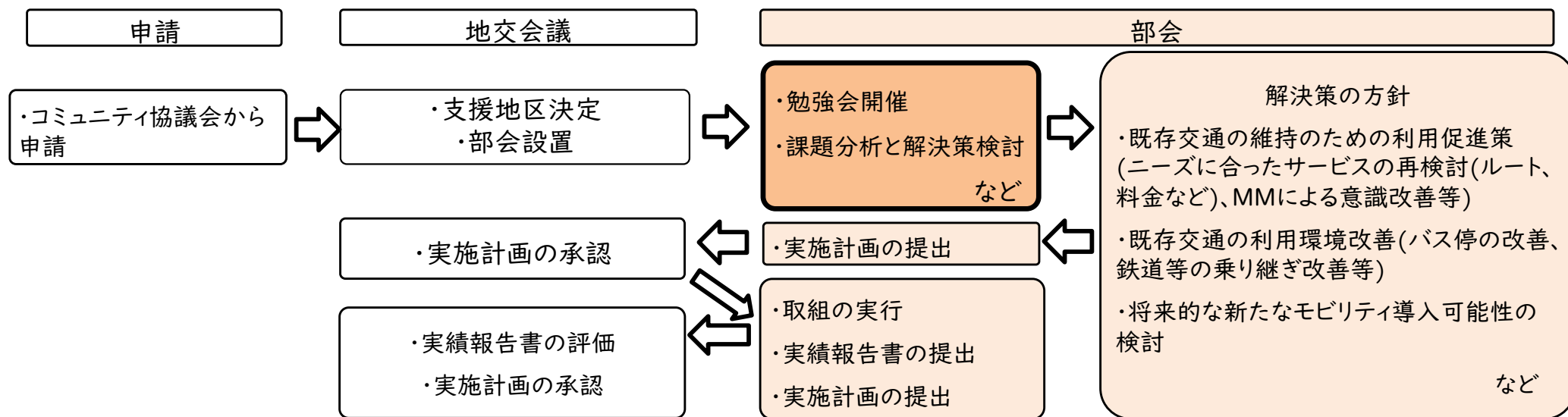
学識者 : 日野会長
交通事業者: 阪急バス 野津委員
市民等 : 市民代表 武田委員
行政 : 土木部長 五島委員

4. 今後の流れ

部会で勉強会や住民アンケートなどを実施し、地域内の課題を明確にする。その後、課題解決に向けた取組内容を検討し、実施する。

北陵コミュニティ地区の部会イメージ

2026/9/17
北陵地域協働交通検討部会（連絡会）資料1



今後のスケジュール（案）

第1回部会
(連絡会)

- ・ 今後の方向性の共有

<11月頃>
第2回部会
(連絡会)

- ・ 講演会、ワークショップ、アンケート実施 など

<12月頃>
第3回部会

- ・ 第2回部会(連絡会)の振り返り

<1月頃>
第4回部会
(連絡会)

- ・ 実施計画(案)の検討

<2月頃>
第5回部会
(連絡会)

- ・ 令和9年度の実施計画(案)確定
➡ 令和9年3月頃に開催予定の地域公共交通会議へ提出

地域の移動課題対策支援事業

概要

市内各地域の交通状況・住環境に応じた交通サービスを構築することを目的に、地域の移動課題解決（既存公共交通の維持など）に向けた地域住民の主体的な取組を支援します。

具体的な取り組み・支援内容

公共交通の利用促進のためのイベント等に関わる費用（上限50万円）を補助します。
(例) 公共交通に関する勉強会・ワークショップの開催（学識経験者の報償費、交通費）
地域住民への意向調査（アンケート代）
利用促進のためのイベントに関わる無料乗車券の発行（交通費、紙代）など

全体の流れ

STEP1 課題の把握

1.地域内で課題の把握
2.支援候補地区への申請書提出（地域としての移動課題について記載いただきます）
3.申請のあった支援候補地区の中から、川西市地域公共交通会議（※1）で支援地区を決定
4.選定された支援地区については、地域協働交通検討部会（※2）を設置

STEP2 課題の検討・解決策（案）の決定

1.地域協働交通検討部会で協議
2.地域住民へのアンケートやワークショップなどの実施
3.事業実施計画（案）の作成
4.地域協働交通検討部会連絡会（※3）で協議。事業実施計画の策定。
5.地域公共交通会議で審議、承認

STEP3 解決策の実施

1.事業実施計画書に基づき解決策の実行
（利用促進のためのイベントに関わる無料乗車券の発行など）

STEP4 解決策の効果検証

1.実績報告書の作成
2.地域公共交通会議へ報告・協議

PLAN
（計画）
STEP 2

DO
（実行）
STEP 3

CHECK
（評価）
STEP 4

ACTION
（改善）
STEP 4

赤字が地域の方々にしていただくことです

※1 学識経験者、公共交通事業者、市等で構成され、交通計画に位置付けられた事業の実施及び調整に関する事項等必要な事項を定める会議体

※2 地域公共交通会議委員、地域住民等で構成され、地域の移動課題対策を検討する会

※3 地域協働交通検討部会連絡会のイメージ

地域協働交通
検討部会

事業者

地域住民

商業者

連絡会（審議会）

構成：部会員（地域公共交通会議委員）
+
地域代表

②支援地区に選定

③実施計画の提出

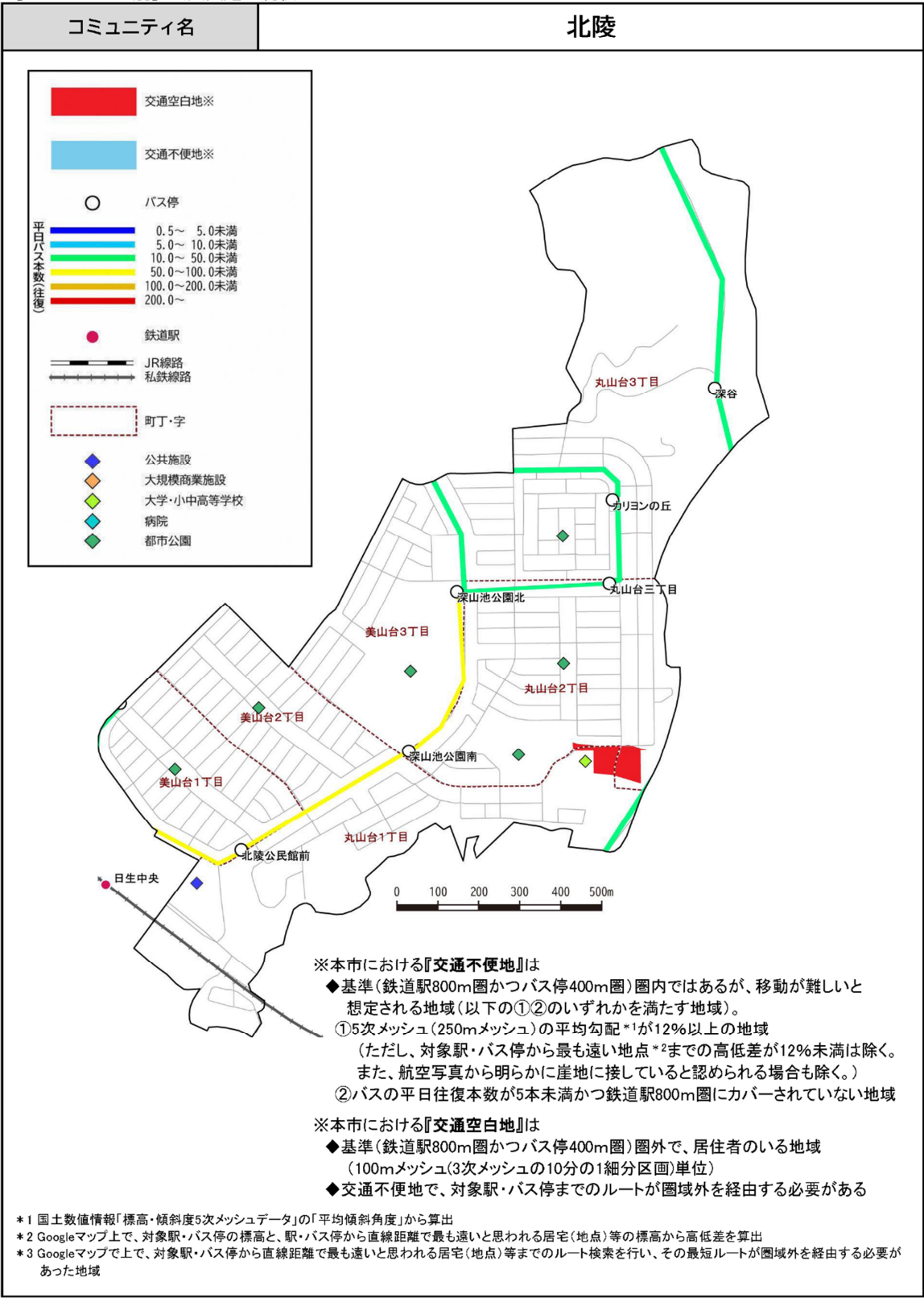
④承認

①支援候補地区への申請書提出

地域公共交通会議
（審議会）

地域住民等の意見をまとめて地域代表が連絡会でご報告いただきます

【コミュニティ別】公共交通の現状



【コミュニティ別】公共交通の現状

コミュニティ名			北陵			
公共交通						
鉄道	コミュニティ内所在駅					
	1日当たり利用者数（R4）					
	駅勢圏内に位置する駅		能勢電鉄日生中央			
	1日当たり利用者数（R4）		8,719人			
路線バス	バス停数（R5・平日に停車があるもの）		6箇所			
	運行本数（往復=1） （R5・平日の1日当たり）	最大	71.0本			
		最小	12.0本			
	運行路線（R4年度）		日生ニュータウン線	西能勢線		
	1日当たり利用者数（人）		1,321	260		
	収支（千円）		-42,966	1,227		
交通空白地			丸山台1・2丁目 の一部			
地域の現状						
交通	地域の特性		・ 日生中央駅を発着する路線バスが団地内を運行 ・ 近隣に能勢電鉄の駅が所在し、日生中央駅周辺に商業施設が所在			
	市民の移動状況	川西市内への外出割合と主な外出先	平日（市内）：40.5% 休日（市内）：30.4%	よく行く施設（市内）：	キセラ川西 川西阪急	
		自動車のみで移動する割合	平日：30.4%（市平均:25.8%） 休日：46.8%（市平均:40.2%）	コミ別順位：	平日：4/14位 休日：4/14位	
		移動手段で困りごとがよくある市民の割合	6.3%（市平均:5.3%）	コミ別順位：	5/14位	
住民の公共交通利用状況及び利用意向	最寄りの公共交通の利用頻度（月に数日以上）	鉄道	能勢電：50.6%（市平均:29.4%）	コミ別順位：	能勢電：5/14位	
		路線バス	26.6%（市平均:27.9%）	コミ別順位：	6/14位	
	どの公共交通の利用も月に1日未満の人の割合		25.3%（市平均:27.1%）	コミ別順位：	7/14位	
	今後の公共交通の利用意向	今も利用しており引き続き利用する市民の割合	60.8%（市平均:41.8%）	コミ別順位：	1/14位	
		無くなったら困るので今後は利用したい市民の割合	13.9%（市平均:20.6%）	コミ別順位：	13/14位	
		今は利用しない・今後も利用しない市民の割合	24.1%（市平均:27.1%）	コミ別順位：	10/14位	
	公共交通利用に必要な取組	上位2位まで	・ 自動車運転免許自主返納者への公共交通割引サービスの導入 62.0% ・ 移動に課題のある方への割引料金の導入 51.9%			
		市平均との差が5%以上あるもの	・ 鉄道とバス、バス同士の乗り継ぎを便利に 46.8%（市平均：34.8%） ・ 自動車運転免許自主返納者へ公共交通割引サービスの導入 62.0%（市平均：52.8%） ・ 時刻表どおりの運行 5.1%（市平均：12.8%） ・ 駅やバス停近くの駐輪スペースの充実 12.7%（市平均：19.8%） ・ 移動に課題のある方への割引料金の導入 51.9%（市平均：46.4%）			
現状のまとめ			・ 日生中央駅が近くにあることから、能勢電鉄の利用割合は高く、乗継利便性の改善への要望が高い ・ 公共交通の今後の利用意向が最も高い一方で自動車の利用割合も高い			